

事務事業名		庁用車の老朽化による更新(購入)事業					<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	03:産業活性化に向けたまちづくり					所属課	産業振興課	担当	農村整備担当
	施策名	03:農業生産基盤の充実					課長名	高橋 好雄	担当者名	軽部 健一
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等		
		01	05	01	03	001	農業農村整備費	塩谷町財務規則		
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~	年度)
事務事業の概要(事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 現在、使用している庁用車は、以前の使用車両が平成22年度に老朽化による廃車の際、応急措置的に総務課所有の管理車両から移管されたもので、初度登録年月が平成7年5月であり既に18年余りを経過している。日常から老朽化によるエンジンの掛かりにくさや外部塗装の破損が多くある等、不具合が発生している。農地確認や災害時の点検等、路面状況が良好でない箇所を使用することが多く、今回、更新(新規購入)を進めたい。</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) ①車両購入費 1,600千円 ②燃料費 154円×5400×1.05≒88千円 旧車両の場合 154円×5920(前年度実績)×1.05=96千円 新車両の燃料消費量 13.60/km→11.50/km(山間部使用を考慮) 6,218km(旧車両の前年度の走行距離)≒6,200km÷11.50/km≒5400(新車両の年間必要燃料量) ③営繕費(車検整備・修理等) 車検38千円 修繕100千円(初期車検は50千円、通常修繕は20千円程度か) 旧車両は毎年 新車両は購入後3年・以降2年・2年・1年… その他、消耗品としてタイヤ(30千円程度)の定期的な更新は必要となる。</p>								

(1) 事務事業の目的と指標																					
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	車両更新(購入) 1台 軽乗用車で全輪駆動を予定	➡	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																		
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	産業振興課職員(主に土地改良・農業委員会)による農地確認作業等	➡	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)																		
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載)	燃料消費量の効率化、営繕費用の軽減 農地等の確認作業時の利便性向上	➡	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																		
			<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 台数</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 確認等による利用回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 営繕費用(整備費・燃料費)</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>イ 当該車両使用時の安全性比較</td> <td>倍</td> </tr> </table>	名称	単位	ア 台数	台	イ		名称	単位	ア 確認等による利用回数	回	イ		名称	単位	ア 営繕費用(整備費・燃料費)	千円	イ 当該車両使用時の安全性比較	倍
名称	単位																				
ア 台数	台																				
イ																					
名称	単位																				
ア 確認等による利用回数	回																				
イ																					
名称	単位																				
ア 営繕費用(整備費・燃料費)	千円																				
イ 当該車両使用時の安全性比較	倍																				

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 台		1				
	イ	実績値 台						
対象指標	ア	目標値 回	280	280	280	280	280	280
	イ	実績値 回						
成果指標	ア	目標値 千円	170	121	108	108	207	108
	イ	実績値 千円						
		目標値 倍	1	2	2	2	2	2
		実績値 倍						

計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		1,600			
	事業費計(A)	千円	0	1,600	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人		1			
	延べ業務時間	時間		40			
	人件費計(B)	千円	0	160	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	1,760	0	0	0

実績		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	公的サービス(農業行政)で使用するものであり妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	老朽化による営繕費用等の拡大しており、早急に対応する必要がある。実施により、農地確認等の利便性の向上、車両営繕費・燃料消費量の効率化が図られる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	自動車ディーラーのホームページでの試算。現営繕費用・燃料消費量から比較しての、費用の削減(効率化)や安全性の拡大。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	受益者負担はなく、他の庁用車の更新と比較しても対応年数から判断して著しい不公平さはない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 25 年 10 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・各課で管理している車両について、総務課同様、更新計画を策定しておくこと。また、更新の基準については総務課で定め、全庁的な統一を図ること。

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 一 年 一 月 一 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業